



ジャンケン先生の《作文が大好きになる魔法》の勉強が始まります。メダちゃんは魔法が楽しみで、ワクワクしています。

先生は最初こんな問題をだしました。

「このお皿には、どんな食べ物がのっていたでしょう。」

もっと楽しい問題を期待していたメダちゃんは「なんだ、そんな問題か」とちょっとがっかりしました。それでも、気をとりなおして答えました。

「ロッテのチョコパイか、明治の果汁グミのブドウです。」

先生に「どうしてですか。」と聞かれたので、「好きなおかしだから」と答えました。そうしたら、先生に「メダちゃんはカレーライスも大好きでしたよね。同じ大好きなのに、カレーでなくおかしを選んだのは、なぜですか。」と質問されました。



メダちゃんは「どうして、おかしにしたのかなあ」と不思議な気持ちになりましたが、答えが出ません。すると、先生が助け船を出してくれました。

「もし、カレーライスだったら、お皿はどうなっていますか。」

メダちゃん目がかがやき、「あっ、カレーの残りだ。お皿、きれい。よごれがない。」

先生は「よごれがない、《ないもの》に気づきました。これは大発見。」とほめてくれました。メダちゃんはうれしくなり、はりきってこう言いました。

「カレーライスだったら、スプーンやお水の入ったコップもあるはず。それがない。カレーライスに使ったお皿ではないです。」

先生「スプーン、コップは写真の中じゃない。その《ないもの》を発見しましたね。それが《見えないものを見る》です。」

メダちゃんは、《見えないものを見る》が魔法の秘密なのかなと思ったのですが、先生の次の質問で、またまた、わけがわからなくなってしまったのです。

その先生の質問とは「お皿の写真は『今、何時ですか』。」

写真に時計もないのだから、わかるはずがない。メダちゃんは「そんなこと、わかりません。」と思わず言ってしまったのです。それでも、先生はニコッと笑って、こう言いました。「『この写真、今、何時?』の答え、見えないものを見るのです。」

ジャンケン先生からみなさんへ 「さて、みなさん、この答え、お家の人みんなで考えてみてください。明日発表の正解にピタリだったら、『作文名人』になれるかも。」